

平成 27 年 第 2 回日本細菌学会関東支部総会評議員会議事録

(日時：平成 27 年 9 月 25 日 (金) 16:00～、会場：日本大学歯学部 1 号館第 1 会議室)

出席：奥野ルミ (支部長)、秋庭正人、祝弘樹、落合邦康、清水健、冨田治芳、林俊治、三室仁美 (各、評議員)、石原和幸 (第 98 回支部総会大会長)、久保田寛頭 (事務局)

欠席：鈴木香、柴山恵吾、関水久、祖母井庸之、知花博治、甲斐雅規 (各、評議員)

報告連絡事項

1. 学術集会委員会からの連絡

鈴木委員長が出張中のため、奥野支部長が代理で連絡を行った。第 100 回の総会長として斧康雄先生 (帝京大) を選出し、依頼を行う予定とのことであった。

2. 活性化委員会からの連絡

8 月 6 日に国立国際医療研究センターにおいて実施されたインターラボセミナーについて、祝委員長から報告があった。参加者 32 名の下、特別講演 1 名を含む 12 名の発表があり、学生が座長を行うなど新たな試みを行ったとのことであった。次年度も本セミナーを開催したい旨 (自治医大・渡邊真弥先生主催) の連絡があった。

3. 編集委員会からの連絡

デザイン会社に作成依頼を行うことで運営・管理を行っている支部ホームページの更新状況について、7 月中に評議委員の一覧を更新したことなど、三室委員長から説明があった。また、三室委員長から、今後の運営方法 (会員制にして限定公開内容を盛り込んでいくかなど) について議題が提示された。

4. 第 98 回支部総会大会長からの連絡

10 月 29 日の開催に向け、石原大会長から、演題数など開催準備について経過報告があった。

審議事項

1. 第 100 回支部総会 (平成 29 年) の開催について

前述の学術委員会からの連絡を受け、斧康雄先生 (帝京大) を大会長とし、開催するとのこと意見が一致した。一方、第 99 回支部総会の日程が、薬剤耐性研究会と重複してしまい参加者を分散させることになる見込みであるため、第 100 回についてはこのような重複がないように注意をしていくこととした。

2. 次回のインターラボセミナーについて

前述の活性化委員会からの連絡を受け、今後は門戸を広げて非学会員も参加可能にしていく方針で意見が一致した。

3. 支部会ホームページの運営・管理方法について

前述の編集委員会から提示された議題であるが、会員制にして内容を充実させていくなど、新たな機能を増やすには費用との折り合いがあるため、継続審議となった。

4. 第 98 回支部総会 (平成 27 年) における会務総会について

奥野支部長から提示された会務総会の次第について、確認が行われた。